



校長通信

令和6年度 7号 令和6年6月3日

和歌山市立河北中学校 校長 戸川定昭

5月末、3年生修学旅行（東京方面）、1年生校外学習（大阪府岬町）、2年生校外学習（神戸方面班別自主活動）を実施しました。けがや事故もなく、貴重な体験、学習をしてくれたと思います。学んだことをまとめ、次の学習に生かして行ってほしいと思います。



《県教育長、市教育長、河北中学校を訪問！》

5月29日（水）午前中、和歌山県教育委員会教育長と和歌山市教育委員会教育長が河北中学校を訪問し、学校の様子や生徒の学習している様子を参観されました。

県の教育長が、市町村立の学校を訪問することは、頻繁にあることではありません。私が、県教育庁に勤務していたこともあり、以前から県教育長さんとは、知り合いです（当時は、知事室長）。私が河北中学校の校長になってから、お会いする度に、河北中学校の子供たちが、頑張っている姿を見に来てあげてほしいと声をかけていました。実は、県の教育長さんは、河北中学校出身なのです。県の教育長さんの訪問に合わせ、市の教育長さんも、河北中学校を訪問してくださいました。ちなみに市の教育長さんは、西和中学校出身です。私は日進中学校・・・（関係ない？）

校長室で、私が学校の様子を説明し、県の教育長さんから、ご本人が河北中学校生だったころの学校の様子を、和やかに話していただきました。その後、授業の様子を参観しました。生徒は、少し緊張気味でしたが、落ち着いて学習に取り組んでいました。まだまだ課題もありますが、落ち着いた学校の様子をご覧になり、母校の取組に概ね満足されてお帰りになりました。良かったです。

《河北中学校卒業生の児童文学作家のトーク&サイン会に参加！》

5月18日（土）ガーデンパーク和歌山店（スターバックス前特設ステージ）で開催された、嘉成晴香さんのトーク&サイン会に行ってきました。嘉成晴香さんは、児童文学作家、1987年生まれで、河北中学校の卒業生です。チラシや新聞にトーク&サイン会のお知らせが載っていて、河北中学校出身の方であるということで、興味を引かれ、参加しました。

嘉成さんは、25歳で「朝日学生新聞社児童文学賞」を受賞し、「星空点呼 折りたたみ傘を探して」でデビュー。これまでに最新刊「涙の音、聞こえたんですが」を含めると計9冊、本を出版されてきました。

トークでは、嘉成さんの、優しい思いやりの心、豊かな感性・創造性に触れることができました。河北中学校卒業生で、こんなに素敵な方がおられたことに、河北中学校の校長として誇りに思いました。図書室に嘉成さんのコーナーを設けようと思います。みなさん、ぜひ読んでください。